

共通情報：事案の発覚

Aは現在2年生の男子。文系クラス（男女比は1：3）に在籍し、テニス部に所属している。

12月の生活アンケートで、Aと同じクラス的女子生徒が“クラスメイトのAがDとEからいじめられている”と記述した。しかし、同じアンケートでA自身は、特にいじめに関する記述はしていなかった。

そこで、アンケートに記述した女子生徒とA本人から担任①が話を聞くことにした。また、テニス部顧問は、BとC以外のテニス部員からSNSについての情報を収集した。アンケートから三日後、この事案に関わる5人の教員が情報を共有するために集まった。

あなたがもっている情報は、以下の内容である。

個別情報1：担任①（A、D、Eの担任）

- ・Aは最近、放課中も自席でじっと座って教科書を見たり、読書をしたりして一人であることが多い。
- ・DとEがレクリエーションでサッカーをする計画を示し、教室の後ろの黒板にメンバー決めの表を書いているのを見かけた。
- ・アンケートにAのことを記述した女子生徒から聞いた話。

DとEは、Aから話しかけられても無視し、Aと仲よくしようとする男子には「Aは女子が好きだから、男とは話さないよ」などと言っている。周囲の生徒は不愉快な気分になっている。自分も周囲の子も、DとEに言われるのが嫌でAには話しかけづらい。

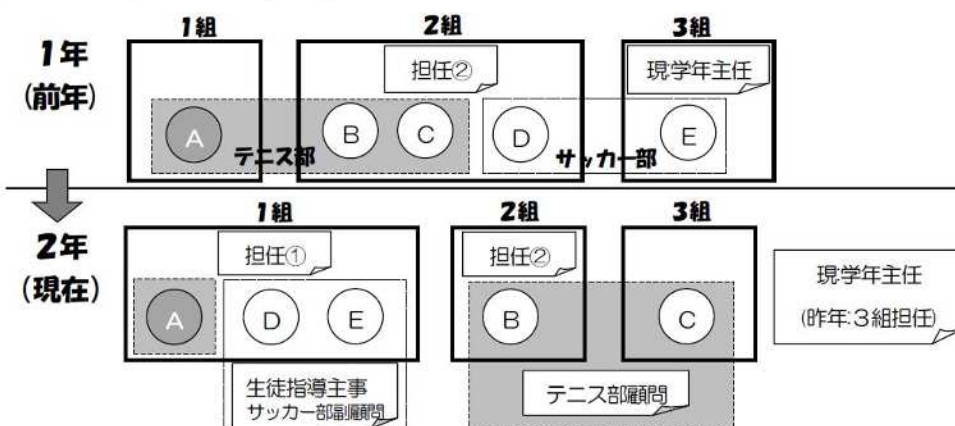
- ・アンケートの状況を受けて、Aから聞いた話。

1年の頃、同じテニス部の仲間が、“SNSでAの悪口が書かれている”と教えてくれた。『自分の悪口がどこまで広がっているのか分からなくて不安だし、知らない間に誰かに嫌われるのはつらい』と話す。また、Dには4月から冷たい態度をされてきたから、DもSNSを見ている一人ではないかと疑っている。

10月に、レクリエーションでサッカーが企画され、チームのメンバー表が黒板に書いてあった。そこに、自分の名前だけがないことに気づきショックだったが、気付いていないふりをした。

中学時代に友達から嫌がらせや無視された経験があり、母が相手の生徒と話をして収まった。今回は母を心配させたくないし、状況が悪化するのも避けたいので、先生たちには何もしないでほしい。

〈関係図〉 ○：関係生徒、 □：関係教員



判断の3観点		個人判断
①	被害感	
②	行為	
③	客観性	
A～Gの判断		

共通情報：事案の発覚

Aは現在2年生の男子。文系クラス（男女比は1：3）に在籍し、テニス部に所属している。

12月の生活アンケートで、Aと同じクラス的女子生徒が“クラスメイトのAがDとEからいじめられている”と記述した。しかし、同じアンケートでA自身は、特にいじめに関する記述はしていなかった。

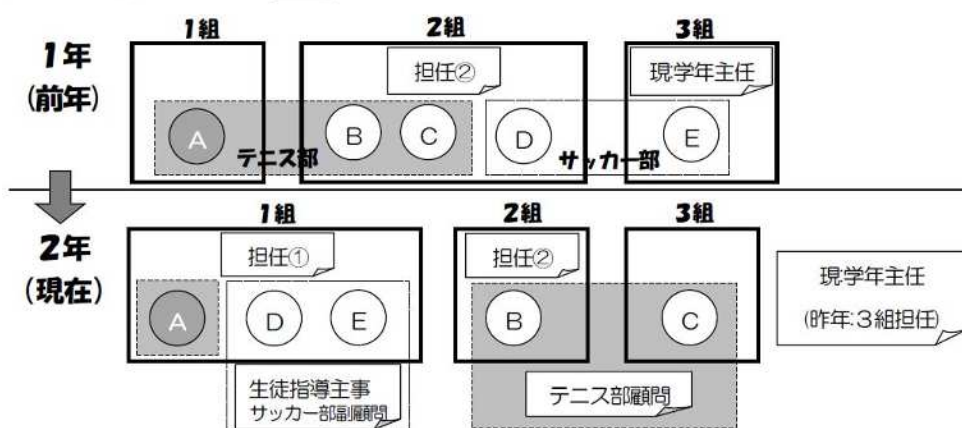
そこで、アンケートに記述した女子生徒とA本人から担任①が話を聞くことにした。また、テニス部顧問は、BとC以外のテニス部員からSNSについての情報を収集した。アンケートから三日後、この事案に関わる5人の教員が情報を共有するために集まった。

あなたがもっている情報は、以下の内容である。

個別情報2：担任②（Bの担任〔1年次はB、C、Dの担任〕）

- ・1年次、B、C・Dは同じクラスで仲はよかった。しかし、授業中の私語や放課中の悪ふざけなどが他の生徒に影響し、一部の生徒からクレームが入っていたため、2年次は3人が別のクラスになるように編成を考慮した。
- ・1年生のとき、B、C、Dが特定の女子生徒の方をちらちら見ながら話していることがあり、その女子生徒から“コソコソと自分のことが話されているようで嫌だ”と訴えがあった。B、C、Dの3人には、訴えた生徒の名前は知らせずに、ちらちら見ることを嫌がっている子がいると伝え、しばらく様子を見ることにした。その後、この女子生徒の訴えはなくなった。
- ・最近では、BとCが、DとEの教室まで来て、4人で廊下で話しているところを時々見かける。
- ・昨年度担任だった1年2組のクラスメイトから、B、C、Dの3人がSNSに他人の悪口を書き込んでいるという話を聞いたことがある。しかし、実際に書き込みを確認したわけではない。

〈関係図〉 ○：関係生徒、 □：関係教員



判断の3観点		個人判断
①	被害感	
②	行為	
③	客観性	
A～Gの判断		

共通情報：事案の発覚

Aは現在2年生の男子。文系クラス（男女比は1：3）に在籍し、テニス部に所属している。

12月の生活アンケートで、Aと同じクラス的女子生徒が“クラスメイトのAがDとEからいじめられている”と記述した。しかし、同じアンケートでA自身は、特にいじめに関する記述はしていなかった。

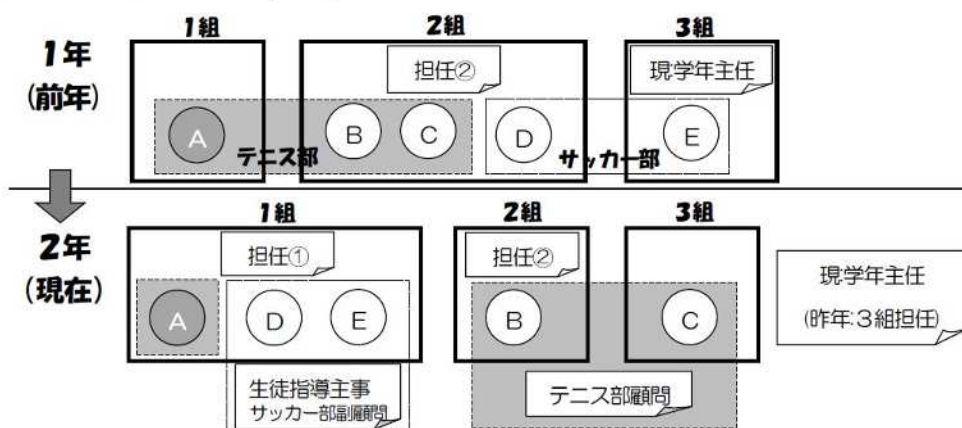
そこで、アンケートに記述した女子生徒とA本人から担任①が話を聞くことにした。また、テニス部顧問は、BとC以外のテニス部員からSNSについての情報を収集した。アンケートから三日後、この事案に関わる5人の教員が情報を共有するために集まった。

あなたがもっている情報は、以下の内容である。

個別情報3：テニス部顧問（A、B、Cが所属）

- ・Aは誰とでも分け隔てなく気さくに話せるため、女子部員や後輩に慕われていた。
- ・Aはテニスがうまく、以前は向上心があり練習熱心だったが、最近は周囲に合わせた感じ。
- ・BとCはいつもペアを組んで練習をしており、楽しくテニスができればよいと考え、練習を怠けることがある。Aは、二人との部活に対する姿勢の違いから、一緒に練習をしたり、話したりすることはほとんどない。
- ・テニス部の男子にはLINEのグループがあるようで、数人の部員が互いに動画を送り合い、おもしろがって話していたことがある。
- ・ある部員の話では、SNS上で、一部のテニス部メンバーだけが自由に書き込むことができ、誰でも閲覧ができるものもある。Aは其中で“チャラ男”と呼ばれている。それがAであると直接的に書かれているわけではなく、そのエピソードからAではないかと考えられるという。
- ・Bが発信しているSNSを確認した生徒指導主事から、テニスコートで話す男女の写真に“何してるの～？”“試合中でもチャラいね”などのコメントが入れられているものを見せてもらった。顔は判然としなかったが、先日の大会のときの写真であり、ユニフォームやラケット、シューズなどの特徴からAであると思われた。

〈関係図〉 ○：関係生徒、 □：関係教員



判断の3観点		個人判断
①	被害感	
②	行為	
③	客観性	
A～Gの判断		

共通情報：事案の発覚

Aは現在2年生の男子。文系クラス（男女比は1：3）に在籍し、テニス部に所属している。

12月の生活アンケートで、Aと同じクラス的女子生徒が“クラスメイトのAがDとEからいじめられている”と記述した。しかし、同じアンケートでA自身は、特にいじめに関する記述はしていなかった。

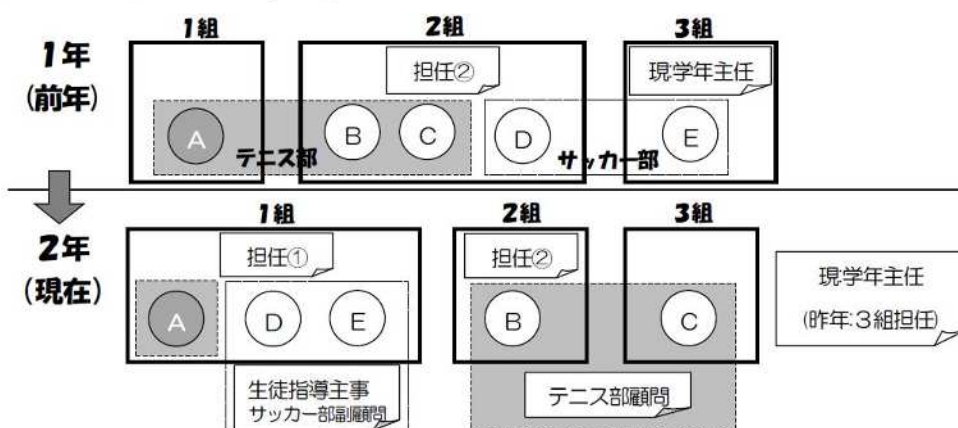
そこで、アンケートに記述した女子生徒とA本人から担任①が話を聞くことにした。また、テニス部顧問は、BとC以外のテニス部員からSNSについての情報を収集した。アンケートから三日後、この事案に関わる5人の教員が情報を共有するために集まった。

あなたがもっている情報は、以下の内容である。

個別情報4：学年主任（数学担当）〔1年次はEの担任〕

- ・2年1組での授業後、DがEに「あいつ、カッコつけてんな」と話しているのが聞こえた。誰のことを指しているのか定かではないが、ちょうどAが質問に来ているときだったので、今思えばAのことだったかもしれないと感じる。
- ・Eの両親は教育熱心（兄は有名難関大学に進学）。1年生の頃、Eは成績が悪く、両親は部活動を辞めて、塾に行くように言っていた。Eは両親に「Dが勉強を教えてくれるから、部活を続けさせてほしい」と主張し、何とかサッカー部を続けさせてもらっている。EはDのことを頼りにしている。
- ・1年次、EがBとCと一緒にいるところを見たことがない。2年次にDと同じクラスになり、Dと一緒にいることが増えた結果、BとCとつながりができたように見える。
- ・B、C、Dは昨年度から話題になることが多かったが、担任②からの注意で解決してきた。しかし、2年次は3人が別のクラスになるように編成を考慮した。

〈関係図〉 ○：関係生徒、□：関係教員



判断の3観点		個人判断
①	被害感	
②	行為	
③	客観性	
A～Gの判断		

共通情報：事案の発覚

Aは現在2年生の男子。文系クラス（男女比は1：3）に在籍し、テニス部に所属している。

12月の生活アンケートで、Aと同じクラス的女子生徒が“クラスメイトのAがDとEからいじめられている”と記述した。しかし、同じアンケートでA自身は、特にいじめに関する記述はしていなかった。

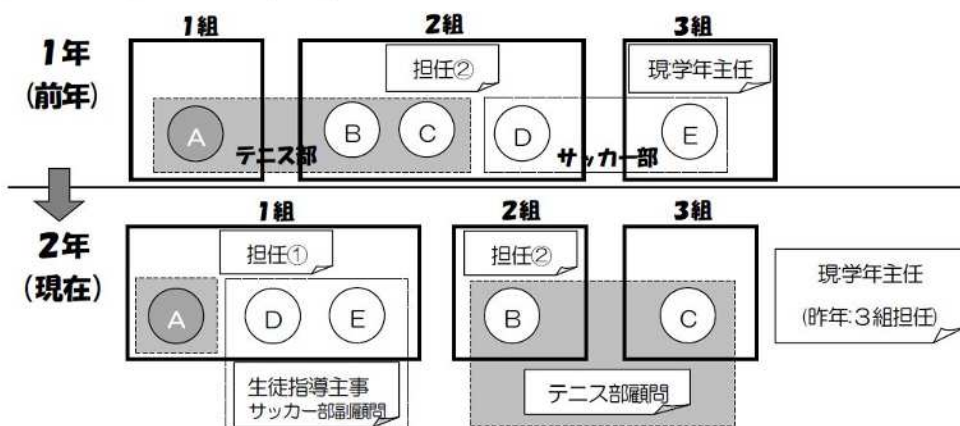
そこで、アンケートに記述した女子生徒とA本人から担任①が話を聞くことにした。また、テニス部顧問は、BとC以外のテニス部員からSNSについての情報を収集した。アンケートから三日後、この事案に関わる5人の教員が情報を共有するために集まった。

あなたがもっている情報は、以下の内容である。

個別情報5：生徒指導主事（サッカー部の副顧問）

- ・Aが中学時代に嫌がらせや無視をされた経験があることは、情報として聞いていない。
- ・DとEは、二人とも同じ小学校でサッカーを始め、中学・高校でも同じサッカー部に所属する。
- ・テニス部顧問からの情報を基に、Bが発信しているSNSを確認すると、何人かがコメントを書き込んでいた。テニスコートで話す男女の写真に“何してるの～？”“試合中でもチャラいね”などのコメントが入れられている。顔は判然としないが、テニス部顧問に確認したところ、その特徴からおそらくAであるとのことだった。
- ・Dは頭がよく、チームを仕切っているが、他人がミスをするときと激しく非難するところがある。
- ・Dの父はサッカーの公式試合の応援に来ることがあるが、Dに対してとても厳しい言葉で叱咤する場面を見たことがある。
- ・Aが廊下で女子と話しているときに、通りかかったDがEに向かって「Aの女好きって、ホントだな…チャラ男って言われるだけあるわ」と言っているのを聞いた。そのとき、Aのことはよく知らなかったが、サッカー部の顧問として、変な噂を広めないように注意をした。
- ・その際、DとEに、Aのことを「チャラ男」と言っているのは誰かを聞くと、「テニス部員はみんな言っている」と答えた。

〈関係図〉 ○：関係生徒、 □：関係教員



判断の3観点		個人判断
①	被害感	
②	行為	
③	客観性	
A～Gの判断		

共通情報：事案の発覚

Aは現在2年生の男子。文系クラス（男女比は1：3）に在籍し、テニス部に所属している。

12月の生活アンケートで、Aと同じクラスの女子生徒が“クラスメイトのAがDとEからいじめられている”と記述した。しかし、同じアンケートでA自身は、特にいじめに関する記述はしていなかった。

そこで、アンケートに記述した女子生徒とA本人から担任①が話を聞くことにした。また、テニス部顧問は、BとC以外のテニス部員からSNSについての情報を収集した。アンケートから三日後、この事案に関わる5人の教員が情報を共有するために集まった。

あなたがもっている情報は、以下の内容である。

〈関係図〉 ○：関係生徒、 □：関係教員

